

第38回 全日本少年サッカー大会函館地区予選 開催要項

- 1 主 旨 函館の少年サッカーのレベル向上を図るとともに、2014年度 第38回全日本少年サッカー大会道南ブロック大会に、函館地区代表として出場するチームを決定する。
- 2 名 称 第38回全日本少年サッカー大会函館地区予選
- 3 主 催 函館地区サッカー協会
- 4 主 管 函館地区サッカー協会4種委員会・各会場担当チーム
- 5 期 日 決勝トーナメント
2014年4月26日(土)、27日(日)
代表決定戦・順位決定戦
2014年5月10日(土)
- 6 会 場 各小学校グラウンド等
- 7 参 加 資 格 ① 「参加チーム」は、本年度実施年度に(公財)日本サッカー協会第4種及び女子に加盟登録したチーム(以下「加盟チーム」)であること(準加盟チーム含)。
② 上記「参加チーム」の構成は単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は、年間を通して継続活動していること。
③ 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。女子加盟登録チームに属する選手は、4種年代であること。また、U-6の選手は出場できない。
④ 地区大会からブロック大会・北海道大会に至るまでに、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
⑤ 第4種年代の女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一クラブ内のほかのチームから選手を参加させることも可能とする。但し、地区大会からブロック大会・北海道大会に至るまでに、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
⑥ 当該チームのブロック大会への登録選手が16人に満たない場合は、「加盟チーム」内の選手の中から補充することができる。
⑦ 引率指導者は、「参加チーム」を掌握指導する責任のある指導者であること。また、うち1名以上が日本協会公認コーチ資格(D級以上)を有すること。
⑧ 「参加チーム」は必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。
⑨ 代表2チームは、第38回全日本少年サッカー大会道南ブロック大会(苫小牧地区)への出場を義務づける。
- 8 参 加 チーム チーム編成は、指導者4名、選手16名とする。
- 9 大会形式 トーナメント戦を行う。
- 10 競技規則 本年度(公財)日本サッカー協会制定の「8人制サッカー競技規則」による。
- 11 競技のフィールド ① フィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)は50mとする。
② その他ペナルティーエリア等の長さに関しては、8人制サッカールールに準ずる。
③ ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。
※ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。
④ 自由な交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける。(ハーフウェーラインを挟んで3mずつ)
- 12 試合球 少年用4号球を使用する。(公認球)
- 13 競技者の数および交代 ① 1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
② 登録できる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場できる。交代の回数は制限されない。
③ 交代の手続き
・ 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
・ 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
・ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。但し、交代して退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
・ 交代について、審判の承認を得る必要はない。
④ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- 14 競技者の用具 ① 競技者の用具については、(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」およびユニフォーム規定に従うものとする。
② 選手番号については「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。
③ ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)は、正の他に、副として正と色の異なるユニフォームを参加申し込みの際に記載し、各試合ごとに必ず携帯すること。(FP・GK用共)
④ 審判(黒色)と同一または類似したシャツを試合において着用することはできない。

- ⑤ ユニフォームの色・背番号の参加申し込み以降の変更は認めない。
- ⑥ シャツの前面・背面に選手登録用紙に記載された選手固有の番号をつけること。
- ⑦ ユニフォームの番号は通し番号でなくてもよいこととする。
- 15 テクニカルエリア ① テクニカルエリア（ベンチ）に入ることができる人数は、交代要員8名、引率指導者4名とする。
- ② その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。
- 16 審判員 1人の主審と2人の副審が指名され、3人制で行う。
- 17 試合時間 ① 試合時間は前・後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバル（前半終了の笛から後半開始まで）は10分とする。
- ② 規定の時間内に勝敗が決しない場合、いわゆるPK方式で次回戦へ進出するチームを決定する。ただし、準決勝及び3位決定戦、決勝戦では、前・後半5分ずつの延長戦を行い、なお決しないときはPK方式で勝者となるチームを決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分、ペナルティーマークからのキックに入るまでのインターバルは1分とする。
- ③ 暑熱下において、前・後半中程に飲水タイムを採用する。
- 18 警告・退場 ① 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- ② 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- ③ 本大会の異なる試合において2度警告を受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- ④ 本大会の規律・フェアプレー委員会の委員長は、函館地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員の構成は、委員長、副委員長、大会担当者とする。
- 19 参加料 4,000円
- 20 帯同審判員 ① 出場チームは公益財団法人日本サッカー協会審判員（4級以上）を帯同させること。
- ② 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。なお、監督が帯同審判を兼ねてもよい。また、参加申込書に記載されていない同一チーム内の他の指導者、保護者が審判業務を行ってもよい。
- 21 開会式 行わない。
- 22 閉会式 代表決定戦・順位決定戦終了後、同会場で行う。
準決勝まで残ったチームの選手・監督は全員参加することを原則とする。
- 23 組み合わせ及びシード ① 前年度のチビリンピック優勝チームとトラック協会杯ベスト3の4チームにシード権を与え、組み合わせを決定する。
- ② 本大会のベスト8の8チームに道新スポーツ旗全道少年サッカー大会函館地区予選のシード権を与える。
- 24 その他 ① 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの出場を停止する。
- ② 荒天、震災、雷等、不測の事態が発生した場合は、実行委員会において協議のうえ対処する。中断、中止することがあることを留意のこと。
- ③ 選手の保護者。チーム関係者のマナーの遵守（路上駐車、喫煙マナー、会場内でのすべての言動、ゴミ等）については、当該チームの責任とする。
- ④ 大会要項に規定されていない事項については、4種委員長、4種副委員長、大会担当者において協議のうえ決定する。
- 25 選手登録 別添ファイル（選手名簿）をEメールにて u12.fahakodate@gmail.com 小川までお願いします。
申込期日 **4月21日（月）17:00**まで
- 26 その他 試合結果はその日のうちに大会担当者《川島》に連絡すること。
大会担当者 川島 政樹
E-mail: morinokomorebi@yahoo.co.jp 携帯: 080-1899-3096
- 27 参加料 4,000円